

第3回日中韓教育大臣会合 共同宣言（仮訳）

我々、中華人民共和国・大韓民国・日本の教育大臣は、2020年1月10日、北京にて、第3回日中韓教育大臣会合を開催した。

過去を振り返れば、2015年11月1日にソウルで行われた第6回日中韓サミットが開催された。この会合において、3か国の首脳は、3か国の相互理解と共栄の促進における教育の重要性を認め、日中韓教育大臣会合を開催することに共同合意した。2019年12月24日、中国・成都で開催された第8回日中韓サミットにおいて、3か国の首脳は教育分野での協力と交流を強化する必要性について再確認した。

日本・文部科学大臣、大韓民国・社会副総理兼教育部長官は、議長国である、中華人民共和国・教育部部長による本会合の主催への尽力に感謝した。

我々は、日中韓三国協力事務局（TCS）の日中韓教育大臣会合への継続的な参画を歓迎し、3か国間の教育協力の促進のために、TCSとの間の協力を強化していく。

我々は、以下の共通認識を再確認する：3か国が教育分野での協力を強めることは、近隣国間における共有と協働の精神に適合し、創造的な人材の育成に重要な影響を及ぼし、ひいては世界規模の平和と繁栄を促進する。これらの目的を達成するために、我々は以下の内容を継続していく：

青少年交流と相互理解の促進

我々は、異なる文化や生活様式を体験する機会を青少年に提供することにより、相互理解を促進することが、3か国にとって重要であることを再確認した。この観点から、我々は3か国間の青少年交流プログラムの一層の推進を決定・合意した。

我々は、第1回及び第2回日中韓大学生交流プログラム及び日中韓子ども童話交流事業の重

要な役割について、これらの取組が3か国の青少年の間において相互理解を深め、友情を育んだという点についての肯定的なコメントを行った。

我々は、2020年に、中華人民共和国が日中韓大学生交流の取組を主催することを歓迎する。

「キャンパス・アジア」プログラムの拡大を通じたアジア高等教育圏確立の促進

我々は、ダブル・ディグリープログラム、共同コース及び3か国の学者・学生の交流を発展させてきたキャンパス・アジアのポジティブな役割を称賛し、引き続き推進していく意思を表明した。

我々は、質保証の重要性を認識しつつ、キャンパス・アジア拡大スキームの理念及び大枠の方向性を歓迎した。

キャンパス・アジアは第3段階を迎えるため、我々は、モニタリングの結果を反映したプロジェクトの改善を見込みながら、次段階の発展に関する実践的な3か国協議を引き続き支援することに合意した。

我々は、法的、制度的及び手続的な基盤の構築、高水準のダブル・ディグリープログラム、共同コース及び学者・学生の交流プログラム実施の推奨により、日中韓の大学間交流を引き続き強化することに合意した。この関連で、我々はTCSが実施している日中韓の学位の相互認証に係る共同政策研究の進捗を確認した。また、我々はキャンパス・アジアの同窓生ネットワークの発展のためにTCSと協力する。

協力分野の拡大と地域に貢献する教育の向上

国連持続可能な開発サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」

に基づき、我々は、人間と世界の持続可能な開発のための教育の重要性を再確認する。我々は、全ての人々の生涯学習に資する教育システムのために協力することを提案する。

我々は、高齢化社会と子どもの人口減少という課題に共に取り組むため、人材育成における3か国の教育協力をはじめめる。

我々は、地域及び世界の教育の発展における日中韓の協力の重要な役割を認識し、10+3や東アジア首脳会議（EAS）、アジア欧州会合（ASEM）等における協力による多国間の連携強化を進めることを再確認する。

最後に、第4回日中韓教育大臣会合を2021年に韓国で開催することを歓迎する。